

會計制度確立に關する件

提案 本 部

說明 寺 西 藤 三 郎

主 文

鬭争の原泉たる財政を確立し意識的計畫的鬭争を行はんが爲め本案を提出す。

理 由

我々労働階級は労働條件の改善と向上と生活權擁護を目的として我が組合員同志諸君は強固なる組織的威力を以つて有効なる戦術と巧妙なる戦略を以つて資本家階級の搾取と弾壓な對抗すべく十二分なる實力と重入なる決意が必要であると共に我々の陣營にもこれに相應する鬭争基金の準備が！絶対に必要である。

鬭争なくして勝利なしと云ふと同時に鬭争基金なくして鬭争は出来ないので、この重入なる財政確立たる鬭争基金の積立なくして強大なる資本の攻勢に對抗することは困難である。明確なる階級意識と組織の擴大と戰鬭的鬭争への拍車となる財政の確立を忘れてはならぬ。以上の趣旨から今

四〇

同財政部の確立の爲同盟本部大會の決議に基き、切手制度を實施して居るが本年度より一層確實にせんがため本案を提出するものである。

階級的に訓練されたる、全代議員諸君は本組合の鬭争を活潑に展開する原動力たる本案に滿場一致御賛成あらん事を乞ふ。

實 行 方 法

イ、會員證は本部より發行し本部會計の捺印證明したる物を使用する事

ロ、切手制度を嚴重に採用する事

ハ、本部規約第四章第五條を嚴守する事

ニ、入會申込書は本部に提出し同時に會員證を發行す、本部は是を永久に保管す

但し會員證は各支部、各支部聯合に十部以下を豫備として組合員の數以外に發行する事を得る

左、各項に該當する會員證使用する者は無効とす、尙組合員として權利を有せず

(一)會員證に本部會計の捺印無き者

(二)會員證に同盟本部發行の切手貼附なき者

以 上

日ソ不侵畧條約締結促進に關する件

提案 本 部

說明 井 上 良 二

主 文

吾等は第二次世界大戰の危機を解消し克服する一つの具體的運轉として日ソ不侵畧條約の締結運動を徹底的に展開せんとするものである。

理 由

世界資本主義列強はその内部的諸矛盾の激化と、第一次世界大戰に依る、その恐慌の積年の深刻化のために、之が打開の方法として國內産業の統制的獨占を行ひ以つて勞農大衆への搾取を強度化し、他方對少殖民地の市場と資源の争奪に各國とも尖鋭的に對立し來つた。殊に東洋殖民地たる支那、印度、東方ロシアに於ける各列強の對立の激化は去る國際聯盟に於いてそれを良く物語つた。

この東洋に於ける殖民地を中心とする世界列強の對立の

激化は、何人が否定し反對してもそれは必然的に第二次世界大戰に導いて行く。既に去る滿蒙戰爭に於いて軍閥、官僚、反動團體及その手先は日米、日ソの戰爭を今にもやるが如く全民衆に向つて煽つた事を諸君は知つてゐるだらう

吾等は今や第二次世界戰爭が發火し爆發せんとする中心地點に於いて、又日本が東洋殖民地に於ける世界列強の尖兵とし、番兵として、尨大なる國防軍事豫算の編成に對しても、吾等は即時日ソ不侵畧條約の締結を要望する。

日ソ不侵畧條約に依る日ソ平和同盟の促進運動を大衆的に展開することに依つて極東の不安を一掃し迫り來る第二次世界戰爭の危機を克服し、以て國內に起る不生産的な戰爭熱を解消し尨大なる軍備費を削減するための現實的な役割を果し得るのである。この日ソ條約は更に歐米帝國主義の東洋殖民地侵略に對しても亦對立し、この條約の現實的締結に依つて東洋殖民地をこれ等歐米の帝國主義者から解放せしめる事にもなる。

斯る使命を持つ、日ソ不侵畧條約の締結のため吾等は官僚、軍閥及反動フアツシヨの一連の輕薄なる反對を押し切つて全勞働大衆の壓力ある大衆的運動にまで發展せしめ、これが實現のために努力せんとするものである。